

C O R P O R A T E S T A T E M E N T

インフラを守り続ける DX推進

Digital Transformation Initiative

株式会社アイウィル

代表取締役 泉田 厚

公表日:2026年5月14日

<https://k-iwill.jp/>



挑戦者であり続ける

1 代表者メッセージ

「デジタルの力で、地域のインフラを守り続ける」

建設・測量業界では、BIM/CIMや3D化、ドローン・AIの活用が急速に広がる一方で、深刻な人手不足が業界全体の課題となっています。こうした社会環境の変化に対応するため、当社では今後DXを積極的に推進してまいります。

現状、出勤簿や請求書などの社内文書は紙ベースで運用されており、管理の煩雑化や業務効率の低下を招いています。今後はDXを推進し、文書の電子化・一元管理を進めることで、業務の効率化と正確性の向上を図ります。あわせて、顧客情報・作業履歴・見積履歴のデータを一元管理・分析することで見積精度と収益力を高め、生産性の向上と持続的な業務改善につなげてまいります。

「人を大事にします」「常に挑戦者であり続ける」という経営理念のもと、デジタルを活用しながら地域社会のインフラを支え続けることが当社の使命です。社員一人ひとりの力を最大限に発揮できる環境をデジタルで整え、測量から施工管理まで一貫して地域に貢献できる企業であり続けてまいります。

株式会社アイウィル

代表取締役 泉田 厚



2 経営ビジョン・ビジネスモデルの方向性

経営理念

人を大事にします:顧客・社員とその家族、携わる全ての人を幸せにする

常に挑戦者であり続ける:失敗からしか成功は生まれない。チャレンジ無き者に幸せ無し

社会環境の変化と自社への影響

建設・測量業界では、BIM/CIMや3D化の普及、ドローン・AIによる業務自動化、インフラ老朽化に伴う維持管理需要の増大など、技術革新と市場変化が急速に進んでいます。一方で業界全体の人手不足は深刻化しており、少数精鋭体制を持つ当社においても、生産性の向上と業務効率化は急務の経営課題です。こうした環境変化に対応するため、デジタル技術の積極的な活用とデータ利活用による業務変革を推進します。

ビジネスモデルの方向性

主力の測量事業に加え、測量・設計・施工管理までの一貫対応という強みをさらに強化します。GNSS・ドローン・3D技術等の最新ICT測量技術を積極的に導入しながら、高付加価値サービスの展開により地域社会のインフラを支える企業として持続的な成長を目指します。

3 DX戦略の全体像

DX戦略:デジタル基盤構築と業務一元化による生産性向上DX戦略

01 STRATEGY

既存業務のデジタル化・ペーパーレス化

紙ベースで運用している出勤簿・請求書・各種届出等の社内文書を電子化・PDF化し、デジタル管理体制に移行します。管理工数の削減・情報参照の迅速化・ヒューマンエラーの低減を実現し、社員の事務負担を大幅に軽減します。

02 STRATEGY

顧客情報・業務データの一元管理とデータ活用による収益力強化

顧客情報・作業履歴・見積履歴を統合型情報管理システムにより一元管理します。蓄積データを分析・活用することで顧客ニーズの把握と見積精度の向上を図り、収益力を改善します。また作業履歴・原価データの活用により工期短縮と原価管理精度の向上を実現します。

03 STRATEGY

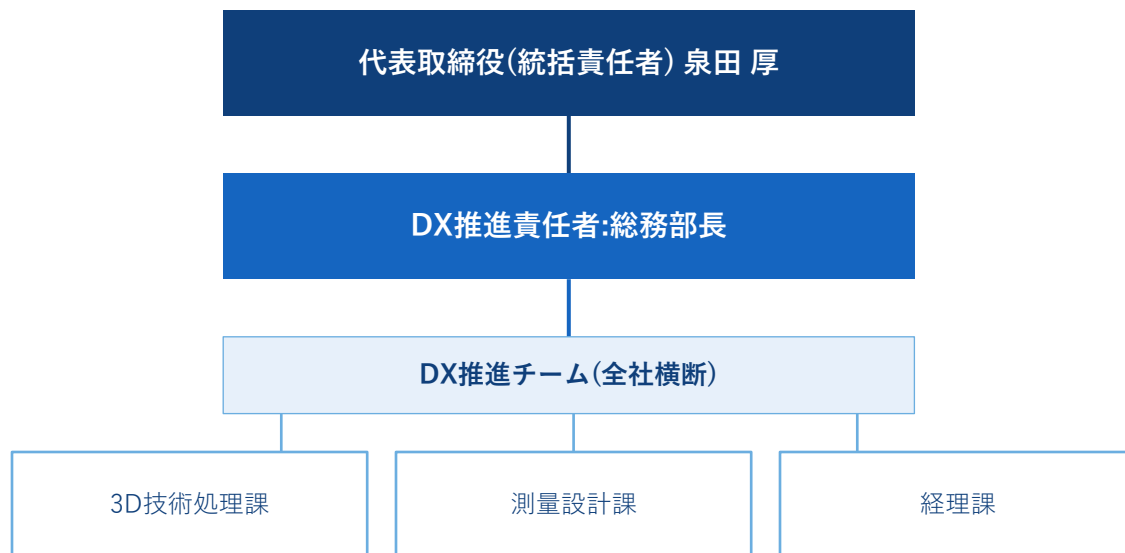
ICT・ドローン・3D技術の活用拡大による対外競争力強化

当社が強みとするドローン空中写真測量・GNSS測量・3次元測量・BIM/CIM対応等の最新ICT測量技術をさらに拡充し、官民の顧客に対して高付加価値なサービスを提供します。新サービスの提案力を高め、固定取引先への依存を低減しながら新規顧客開拓を推進します。

4 DX推進体制と人材育成

DX推進体制

代表取締役を統括責任者とし、経営直轄でDX推進を統括する体制を構築します。実務推進責任者には総務部長を任命し、各課から選任された担当で構成するDX推進チームを設置。定期的な進捗確認・課題共有を行いPDCAを回します。



デジタル人材の育成・確保

■ 社内研修・OJTの体系的実施

全社員のデジタルリテラシー向上と、技術・専門スキルの底上げを図ります。

■ 現場主導の改善人材の育成

現場社員が自ら業務課題を発見・改善できる人材への育成を推進します。

■ 外部専門家との連携による補完

システム導入・データ分析・セキュリティ等の専門領域は外部ITベンダー・専門家との連携により補完。社内外を問わず必要な人材を確保し、既存社員のスキル向上を継続的に進めることでDX推進を担える人材基盤を整備します。

5 ITシステム環境整備の方針

DX戦略の実現に向け、以下の3つの観点からITシステム環境を整備します。

01

ペーパーレス環境の整備

紙ベースで提出・管理していた出勤簿等の文書を電子化し、デジタル管理ツールへ移行します。管理工数の大幅削減と、業務情報の即時参照・正確な把握を可能にします。

02

顧客情報・業務履歴の統合管理システム導入

現状それぞれ独立して管理されている顧客情報・作業履歴・見積履歴を一元管理できる統合型情報管理システムを導入します。

03

データ分析基盤の整備

統合管理した顧客情報・作業履歴・見積履歴・原価データを蓄積・分析できるデータ活用基盤を構築します。蓄積データの分析により見積精度の向上・原価管理の精緻化・工期短縮を実現し、収益力の改善に活用します。

6 KPI・達成指標

【定性指標】いつまでに何をやるか

達成指標	期限	対応戦略
勤怠管理のペーパーレス化(出勤簿等の紙届出をPDF・電子提出へ100%移行)	1年以内	戦略①
顧客情報・作業履歴・見積履歴の電子化・一元管理システム導入(全担当者が一元参照できる状態を実現)	3年以内	戦略②
データ分析基盤の整備・活用開始(蓄積データを活用した見積・原価管理の分析運用を開始)	5年以内	戦略②
社内文書ペーパーレス環境の完全整備(請求書・届出書類等のドキュメント管理環境を全社導入)	5年以内	戦略①

【定量指標】前年比での改善目標

達成指標	目標値	期限	対応戦略
営業利益率	前年比5%以上向上	5年以内	戦略②③
社内文書処理時間	前年比30%以上削減	3年以内	戦略①